

International GAP（国際的適正農業規範）対応の 食料管理専門職業人の養成

ニュースレター No.4 (2013.01.07)

発行：GAP 事業推進室 TEL/FAX：0985-58-7165 E-mail：muigap@cc.miyazaki-u.ac.jp URL：http://www.cc.miyazaki-u.ac.jp/muigap/



JGAP 指導員 37 名誕生！

集中講義「GAP 指導員講座」が、日本 GAP 協会協力のもと、植物生産環境科学科 3 年生を対象に 2012 年 7 月に行われました。本講座の試験で所定の成績をおさめた学生のうち、申請を行った学生が JGAP 指導員資格を取得。JGAP 指導員は、日本 GAP 協会が認定する資格で、JGAP 導入支援を行うことができます。今年度の資格取得者は 37 名。

これを記念して、2012 年 10 月 1 日、

特定非営利活動法人日本 GAP 協会の木内博一理事長および武田泰明事務局長に同席いただき、JGAP 指導員合格証伝達式を行いました。資格取得者には村上昇農学部長より合格証が一人一人に手渡されました。大学の正規の講義を通じて多くの学生が在学中に資格を取得するのは、日本の大学では初めてのことです。

式では、村上学部長より「この資格取得をスタートに、自他共に指導

員と認められるように、残り 1 年間、勉学に励んでください」と激励の言葉がありました。また、木内理事長からは「GAP を大学の教育に取り入れたことは、今後の農業の発展に大いに役立ちます。皆さんも GAP の知見を持ったリーダーとして、社会で活躍してください」との祝辞をいただきました。

学生が海外農業を体験

「グローバルアグリ体験講座」が 2012 年 9 月 9 日から 22 日までの 13 日間行われ、植物生産環境科学科 3 年生 10 名が、タイ王国へ行きました。この講座の目的は、農業のグローバル化や GAP の国際的な役割を理解すること、海外でのコミュニケーション能力の向上。カセサート大学と JICA の協力のもと、学生は、英語による講義やタイ GAP、Global GAP に関する講義や圃場・加工場などの見学、実習、Global GAP 認証農家の圃場見学などを行いました。

帰国後の 11 月 5 日に大学内で、参加した学生による報告会が行われました。報告されたテーマは、「タイの GAP と英語授業」と「タイの農業における国際協力」「タイの気候・農業」「現地圃場視察」の 4 つ。学生にとって、海外の農業に実際にふれたことは、とても良い体験になったようです。



GAP の国際動向を学ぶ

特別講演「International GAP の動向と食料生産管理の戦略」を8月に農業機械学会九州支部と共催で開催しました。講師は、農林水産省「農業生産工程管理（GAP）の共通の基盤づくりに関する検討会」の座長をつとめられている東京農工大学教授の澁澤栄氏。講演では、GAPに関する国際動向と、模範となる農作業・農場管理のあり方について、話がありました。参加者は89名。「GAPの現状と有用性を感じることが出来た」などの感想がありました。



技術者倫理教育が必要

食の安全管理の専門家には、技術者倫理に関する知識が不可欠。そのため、新しく技術者倫理の科目を設置することを目標に、筑波大学准教授の野口良造氏を講師に迎えて、研修会を行いました。終了後のアンケートでは、「技術者倫理教育の必要性を再認識した」などの回答がありました。



地域でも GAP 指導員を

日本 GAP 協会が行っている「JGAP 指導員基礎研修」を誘致し、6月に本学で行いました。本研修は、JGAP 指導員資格取得のために必要なものです。参加者は37名で、九州圏内の普及指導員や小売業者など。本学教職員も10名受講し、資格を取得しました。



高校生へアピール

夏休み中に行われたオープンキャンパスで、高校生を対象に、GAP 事業を紹介。まず、GAP とは食の安全・安心を担保する手法だと説明し、GAP の必要性と GAP 教育プログラムの紹介を行いました。



モンゴル国立大学創立70周年記念行事および南京農業大学創立110周年記念行事が10月に開催され、招待を受けた菅沼龍夫学長は「持続的な発展・開発に繋がる宮崎大学の研究取組」と題して講演。その中で、GAP 事業も紹介されました。

菅沼学長、海外で本事業を紹介

農場の取り組みを学外で発表

本事業の一環で取り組んでいる附属農場（木花フィールド）のGAP導入の取り組みについて、学外で発表しました。8月には、GAP 事業推進室真智代教務補佐員が農業機械学会九州支部例会で、9月には、木花フィールド福重博貴技術職員が全国大学附属農場協議会九州地区協議会で、10月には、同じく木花フィールド安藤定美技術専門職員がJAみやざき園芸生産者大会で発表。福重技術職員は発表部門の優秀賞を受賞しました。



『International GAP 対応の食料管理専門職業人の養成』ニュースレターは、宮崎大学の人材養成の取り組みを広く紹介するために、農業法人や食品関連企業などの関係者に配信しています。このニュースの配信を希望される方を募集中です。GAP 事業推進室までご連絡下さい。

【お問い合わせ】GAP 事業推進室

〒889-2192 宮崎市学園木花台西 1-1
宮崎大学農学部 (N708 号室)

PHONE/FAX : 0985-58-7165

E-mail : muigap@cc.miyazaki-u.ac.jp

URL : <http://www.cc.miyazaki-u.ac.jp/muigap/>

